

Elazzio

SEAT COVER



TOYOTA
COROLLA
COROLLA TOURING

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

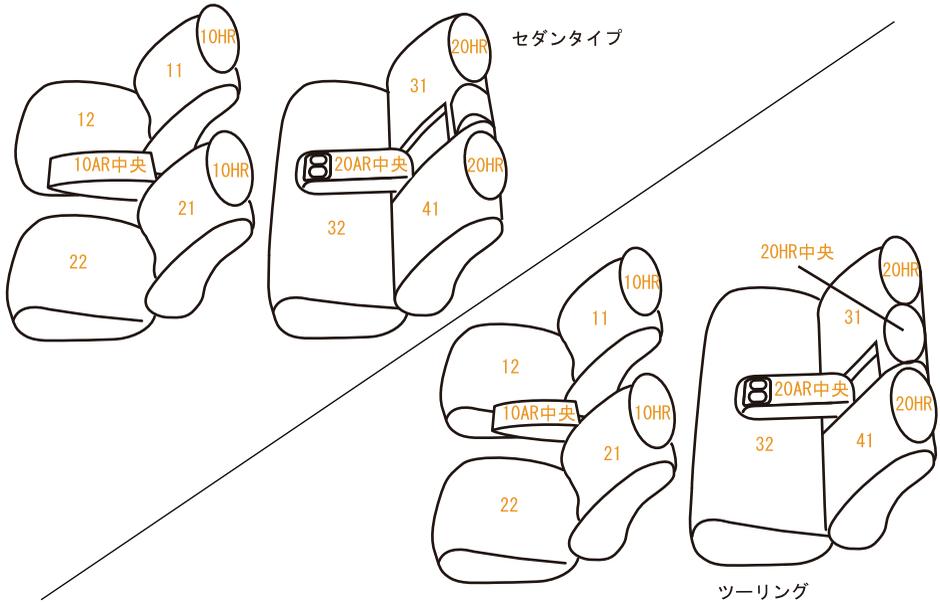
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関する
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 1P~2P
警告 サイドエアバッグについて	…> 3P~4P
1列目座面の装着方法	…> 5P~7P
1列目背もたれの装着方法	…> 8P~11P
2列目座面装着方法	…> 12P~16P
ツーリング、2列目背もたれ・アームレスト の装着方法	…> 17P~21P
セダンタイプ、2列目背もたれ・アームレストの装着方法	…> 22P~26P
ヘッドレストの装着方法	…> 27P~28P
1列目アームレストの装着方法	…> 29P~30P
完成図	…> 31P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 32P~33P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① プラスドライバー (No. 2/No. 3) ※No. 3はセダンタイプのみ使用します。
- ② 両面テープ (薄いタイプ) ※無くても可。1列目アームレストカバーの装着の際、必要に応じてご用意下さい。
- ③ クラッツィオ 専用ヘラ (付属)

この車種は上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。

3P ▶



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押して、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

Step 1

…> 1 列目座面の装着方法

当説明書のフロントシートは、シート形状が同形状のカローラスポーツの画像を使用しています。



- 1 背もたれ背面からシート裏に固定されている生地を外します。生地はシート裏のフックにゴムで引っ掛けて固定されているのでゴムの固定をほどき生地を外します。



- 4 シート内側のカバーには図のようにマジックテープが付いています。
※マジックテープには保護テープが付いている場合があります。その場合は保護テープを外して下さい。



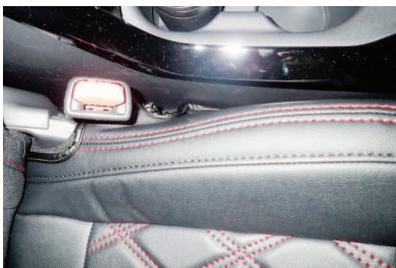
- 2 カバーを図のように裏返してシートのラインに合わせます。



- 5 コンソールとシートの隙間に生地を入れ込みます。生地の端に付いているマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。



- 3 シートのラインからずれないようにカバーをシート全体にかぶせます。
シートベルトのバックル部分は、バックルの軸の内側に生地を入れ込みます。



- 6 シートの内側は図のようになります。



- 7 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。こちらは隙間が狭くなっています。背もたれを一番前に起こした状態が一番隙間が広がります。背もたれの角度を調整しながら作業を行って下さい。



- 10 シート外側の付け根辺りは、隙間が大変狭くなっています。ヘラなどを使用してプラスチック部の内側に沿わせるようにして生地を入れ込みます。



- 8 入れ込んだ生地を、シートの背面から引き出します。図の右端に見えているサイドエアバッグの配線は、生地の分かれ目でかわすようにして下さい。またシートヒーターなどの配線がある場合も、生地の分かれ目でかわすようにして下さい。



- 11 カバーの前側に付いている4本のベルトをシートの裏から背面へ通します。シート裏にはプラスチックパーツなどがあります。ベルトはできる限りプラスチックパーツ類の上側を通すようにして下さい。



- 9 シートの外側です。シートとプラスチック部の隙間に、端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。



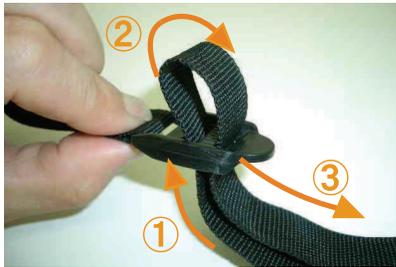
- 12 シートの背面からベルトを引き出します。



- 13** 8番で引き出した生地についているバックルに、引き出したベルトを通します。



- 16** カバーのラインを整えて、1 列目運転席座面の完成です。
助手席も同様に取り付けます。



- 14** ベルトは①～③の順番でバックルに通します。まずバックルの中央にベルトを通して折り返します。次につまみ側の端を通して引くとカバーの前後が絞り込まれ固定されます。ベルトは強く引きすぎると生地が破れたり、切れたりするので注意して下さい。



- 15** シート背面は図のようになります。

Step 2

1 列目背もたれの装着方法



注意

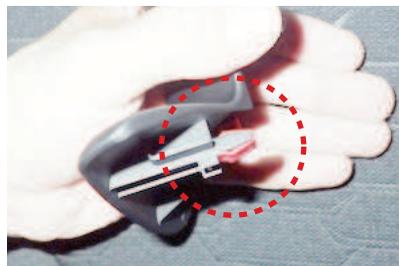
サイドエアバッグ装着車の装着方法は、3ページと4ページの『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し、正確にシートカバーを取り付けて下さい。



- 1 ヘッドレストをシートから外して、図のプラスチックパーツを外します。



- 4 全てのピンが外れると、プラスチックパーツが図のように外れます。この状態からカバーの装着を行っていきま



- 2 プラスチックパーツを固定している固定具です。プラスチックパーツは図のひし形状のピンで固定されています。



- 5 カバー側面のファスナーを開いた状態にして、シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 3 ピンは図の矢印位置に固定されています。ピンの位置を意識しながら手前にゆっくり引くことでピンの固定が外れます。寒い時期は特にピンが硬くなり、外れにくくなります。プラスチックパーツはあまり頑丈なものではないので作業は慎重に行ってください。



- 6 5ページ1番で外した生地をめくり上げてカバーの中へ入れ込みます。



- 7 ヘッドレストの台座を取り出します。まず片側の台座のフチに、生地をしっかりと入れ込みます。



- 10 シートの背面から同様に生地を馴染ませていきます。生地の縫い目部分をシートの頂点に合わせるようにしていくと、よりシートの形状に馴染みやすくなります。



- 8 生地の伸びを利用して、台座を取り出します。



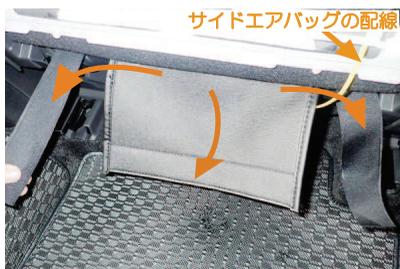
- 11 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



- 9 シート先端部分の突起した形状に、生地を沿わせるようにして馴染ませていきます。このスポーツシートの形状ではかなり重要な作業になります。ピンの穴位置とカバーの加工穴の位置も意識して生地を馴染ませて下さい。



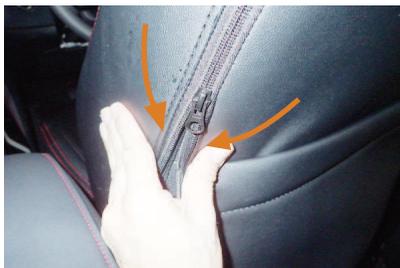
- 12 カバーの両端に付いているマジックテープをシートの端からでは隙間が大変狭いためシートの中央に寄せて入れ込みます。この後マジックテープをシートの背面から引き出す際に、マジックテープがねじれていないように注意して下さい。



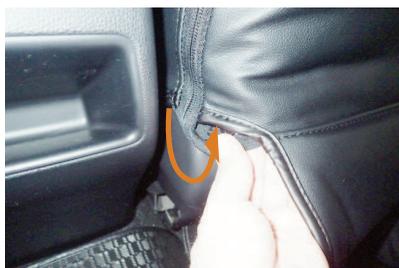
- 13 入れ込んだ生地とマジックテープをシート背面から引き出します。マジックテープはシートの背面中央部分から少し引き出して図のように端に寄せて引き出します。



- 14 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろします。下側に余った生地を13番と同様にカバーの背面から引き出して、生地をシートに密着させていきます。カバー側面のシワが無くなるまで繰り返し行って下さい。



- 15 カバー側面のファスナーを生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーを閉じる際、ペンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとする、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 16 ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 17 13番で引き出した生地・マジックテープを、カバーの背面下とマジックテープで固定します。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、こちらの固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



- 18 カバー背面下のゴムに付属の金属フックを取り付けます。



- 19 金属フックはシート裏の5ページ1番で外した生地を固定していたフックに引っ掛けて固定します。



- 22 プラスチックパーツを固定出来たら、周りの浮いている生地をプラスチックパーツの中へ入れ込みます。



- 20 プラスチックパーツを元に戻します。カバーの加工穴とプラスチックパーツを固定するピン穴位置が合っていることを確認して下さい。



- 23 プラスチックパーツのピンは元から容易に外れやすいものです。生地を挟み込むことで更に外れやすくなっています。シートカバーは生地の厚みを最小限に抑え、プラスチックパーツの周りに負荷が掛かりにくいようにしているため、図で押さえている位置の周りは生地が多少浮いてくる場合があります。また使用中にピンが外れたり、浮いてきた場合は、その都度押し込み固定して頂くようにお願いします。



- 21 生地を挟み込みながらプラスチックパーツをシートに戻します。ピンの位置を合わせてしっかりと押し込みます。
※ピンがしっかり固定できずに浮いてくる場合は、ピン周りの生地が張っていることが原因です。9番・10番の作業を再度行い、ピンの穴位置を周りの生地にゆとりを持たせるようにして下さい。



- 24 サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。カバーのラインを整えて、1列目運転席背もたれの完成です。助手席も同様に取り付けます。

Step 3

…> 2列目座面の装着方法

2列目座面の装着説明は、ガソリン車を元に作成しています。
ハイブリッド車は、シートの厚みのみ異なりますが、同様の固定方法で取り付けを行って下さい。



- 1 3点式中央シートベルトの固定を外します。ベルトを引っ張り中央のシートベルトバックルをシートの表に出せるだけ出します。バックルの丸印の位置を先端が細いもので押すと、シートベルトの固定が外れます。

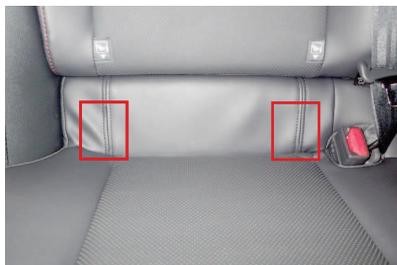


- 4 シートの固定が外れたら、作業のしやすい場所へ運び出します。この際、車体に傷を付けたりしないように、慎重に作業を行って下さい。

②矢印の位置を上から押し
ながらシートを手前に引く



- 2 シートを車体から外します。シートの前側は図の橙矢印位置の裏辺りにある2カ所のフックで固定されています。
①シート裏のフックのすぐ横に手を添えて片側ずつ真上に持ち上げるとフックが外れます。
②赤矢印の位置を押しながらシートを手前に引くと、矢印奥のフックが外れシートが車体から外れます。



- 5 シートの付け根部分にチャイルドシート固定用の穴が開いています。



- 3 ①→②の手順でシートが車体から外れます。



- 6 カバーの裏側に付いている4本のベルトを全てチャイルドシート固定用の穴に通します。このベルトを引くことでシート付け根部分のくぼみがカバーに反映されます。



7 シートの付け根部分に生地を馴染ませるようにしてカバーをかぶせます。



8 シート付け根のフック部分にカバーの加工穴を通します。



9 シートのラインに合わせてカバーをシート全体にかぶせます。



10 シートを裏返してカバー前後のベルト4本を固定します。ベルトを固定することでカバーの前後が固定されると共に、シートの付け根部分の段差がはっきりと出るようになります。

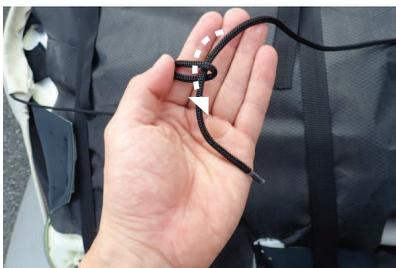
赤丸はフックの位置です。フックにカバーの加工穴を通して下さい。

※ハイブリッド車の場合、加工穴は切り込みのみですので、図のように大きな穴にはなりません。

※図の矢印は14番の作業の目印になっています。



11 カバーの側面から出ているヒモの片側で、図のように輪を作ります。



12 作った輪にもう片側のヒモを通します。



- 13 通したヒモを引き、カバーの下周りを絞り込み結び留めます。



- 16 フックを引っ掛けると図のようになります。



- 14 10番の矢印位置に固定している純正のシート表皮を、シートの固定から外します。金属フレームにフックを引っ掛けているので、フックをフレームから外します。



- 17 カバーの裏側は図のようになります。



- 15 純正のシート表皮を固定したフレーム部分にカバーのフックを引っ掛けて固定します。純正のシート表皮のフックはカバーの内側に入り込む仕様になります。



- 18 シートを表側に戻してカバーのラインを整えます。



19 背もたれカバーを装着後、シートを車体に固定しなおします。



22 シートの裏からシートベルトバックルを、バックル収納部の穴位置に合わせて入れ込みます。



20 シートの付け根にあるコの字型のフックを固定する突起部分が、車体の背もたれ下中央の助手席側辺りにあります。



23 シートの表からシートベルトバックルが出てきていることを確認します。



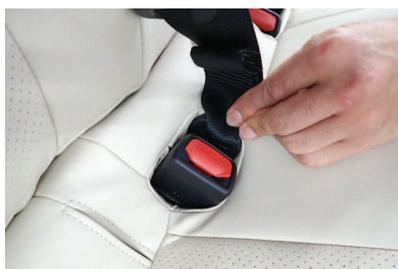
21 20番の突起の位置に、シートのコの字型のフックが引っ掛かるように意識してシートを戻していきます。



24 シート裏のフックの位置に合わせて、シートを真上から押し込みます。フックをはめ込み車体にシートを固定します。



25 シートベルトバックルが出ているシートのフチに生地を入れ込みます。



28 1番で外したシートベルトを固定します。



26 中央席・助手席側のシートベルトバックルは図のようになります。



29 カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。



27 運転席側のシートベルトバックルは図のようになります。

Step4

ツーリング 2列目背もたれ・アームレストの装着方法

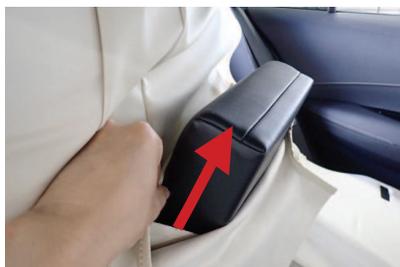
セダンタイプの背もたれは22～26ページを確認して下さい。
運転席側の背もたれで説明を行います。



- 1 中央のシートベルトをカバーの加工穴に通します。



- 4 ヘッドレストの台座を取り出します。



- 2 アームレストを斜めに倒して、カバーの加工穴に通します。



- 5 リクライニングレバーのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。生地を入れ込んでいる際に、プラスチックパーツのツメが外れてくる場合があるので作業は慎重に行ってください。ツメが外れた場合は上から押し込めば固定されます。



- 3 カバーをシートのラインに合わせて、シート全体にかぶせます。



- 6 リクライニングレバー部分は図のように収まります。



- 7 中央シートベルトのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



- 10 シートの下から生地を入れ込みます。



- 8 中央のシートベルト部分は図のように収まります。



- 11 シートを前に倒して、入れ込んだ生地を引き出します。
この際シートの背面にはワイヤーが通っています。そのワイヤーをかわしながら生地を引き出して下さい。



- 9 カバー内側にあるファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。
ファスナーを閉じる際、ベンチなどの工具を使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



- 12 引き出した生地とカバー背面下の生地を、マジックテープで固定します。



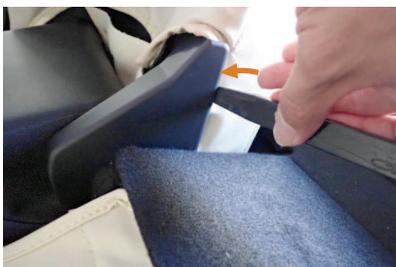
- 13** アームレストの下から生地を入れ込みます。生地が入り込みづらい場合は、入れ込もうとしている手を添えたまま、アームレストを倒す→起こすと繰り返すことで生地が徐々に入り込んでいきます。



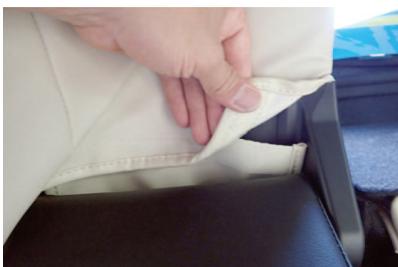
- 16** アームレスト付け根のプラスチックパーツのフチに、周りの生地を入れ込みます。



- 14** アームレストを倒して生地を引き出します。



- 17** カバー側面の生地もプラスチックパーツのフチに入れ込みます。



- 15** 引き出した生地とアームレスト収納部下側の生地をマジックテープで固定します。



- 18** アームレスト収納部の生地は、カバーを装着してすぐには、浮きやたるみが出ます。こちらはアームレストカバーを装着後、アームレストをシートに収めた状態しておくことで、装着直後の浮きやたるみを緩和することができます。



- 19 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。
※背もたれカバー装着後、座面を車体に戻して下さい。



- 20 アームレストにカバーの装着を行います。カバーの入り口を図のように裏返して、アームレストの先端までしっかりとカバーを被せます。



- 21 アームレストのラインからずれないようにカバーを全体にかぶせます。



- 22 アームレストの下から先端にブラックの付いた生地を入れ込みます。生地が入り込みづらい場合は、入れ込もうとしている手を添えたままアームレストを倒す一起こすと繰り返すことで生地が徐々に入り込んでいきます。



- 23 アームレストを倒して端にブラックの付いた生地を引き出します。



- 24 助手席側の隣になるアームレストの付け根部分は表面側に生地が反り返ることがあるので、内側までしっかりと巻き込みます。



25 アームレストを倒してアームレストの付け根部分でブラックを固定します。



28 ドリンクホルダーのフチにヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



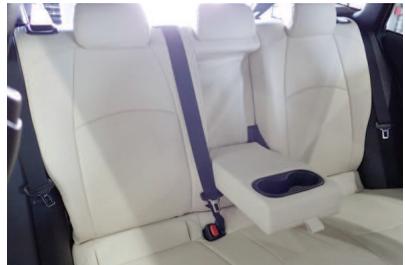
26 ブラックの固定方法は、かぎ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



29 カバーのラインを整えて、2列目アームレストの完成です。



27 ブラックを固定するとアームレストの付け根部分は図のようになります。



30 2列目背もたれ・アームレストの完成です。

Step 4

セダンタイプ 2列目背もたれ・アームレストの装着方法

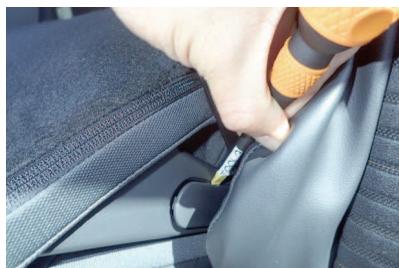
運転席側の背もたれで説明を行います。



- 1 中央のシートベルトをシートのガイドから抜き出します。



- 2 シートベルトのガイド、リクライニングボタンの周りの枠になっているプラスチックパーツをシートから外します。図の丸印で囲っているネジ2本を、ドライバーを使用して外します。



- 3 アームレストをシートから外します。運転席側のシートを前に倒してアームレスト付け根のキャップを外します。キャップは先端が細いものを隙間に差し込み外します。図ではマイナスドライバーの先にマスキングテープを巻いて使用しています。プラスチック部分は傷が付きやすいので作業は慎重に行ってください。キャップを外すと奥にネジがあります。
※工具は先端が細いもので代用できます。



- 4 3番のネジを外します。こちらのネジは、プラスドライバーのJIS規格、No.3のサイズのドライバーが一番適しています。ドライバーを使用してネジを外します。この際助手席のシートが邪魔になりますが、助手席のシートを図のように潰しながら、ネジに対してドライバーを真っ直ぐに当てて作業を行うようにして下さい。斜めに差し込むとネジ穴が潰れる恐れがあります。



- 5 アームレストはネジが外れても簡単には外れません。図のように軸部分を助手席側に振るように動かしながら外して下さい。



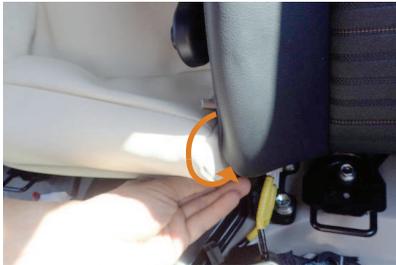
- 6 シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



7 アームレストの軸部分にカバーの加工穴を通します。



10 こちらは助手席側のシートです。助手席側はヘッドレストの台座とリクライニングボタン部分を一緒に取り出します。



8 アームレスト収納部の下側の生地をシートの形状に沿って馴染ませます。



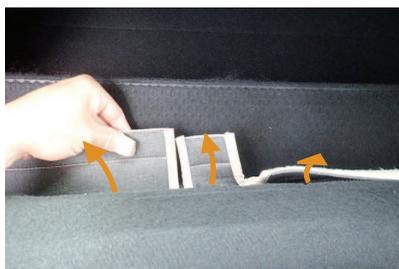
11 カバー下側の生地を背面側へ入れ込みます。



9 ヘッドレストの台座を取り出します。



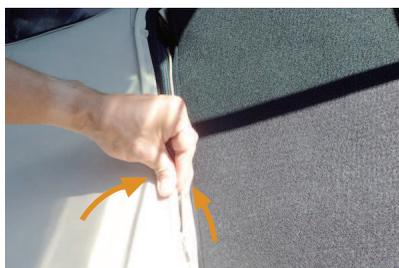
12 シート内側の軸部分は、生地が金属のフレームに引っ掛かりやすくなっています。ヘラなどを使用して生地をしっかりと入れ込むようにして下さい。



- 13** 11番で入れ込んだ生地をシート背面から引き出します。



- 16** 13番で引き出した生地とカバーの背面下をマジックテープで固定します。



- 14** カバー内側面に付いているファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。ファスナーを閉じる際、工具などを使用して無理やり閉じようとすると、ファスナーが破損する恐れがあります。



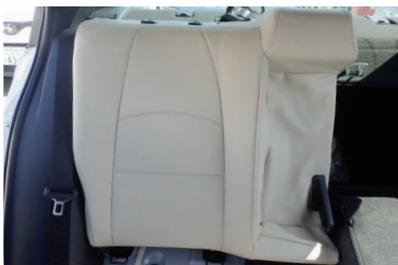
- 17** アームレストの軸部分にヘラなどを使用して、端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。



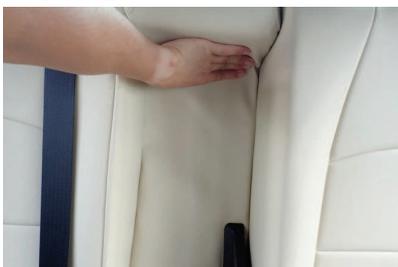
- 15** ファスナーの端は折り返してカバーの内側へ入れ込みます。



- 18** シートベルトのガイドが付いている部分を生地を挟み込み元に戻します。



- 19 カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。助手席側も形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。
※背もたれカバー装着後、座面を車体に戻して下さい。



- 20 アームレスト収納部の生地は、カバーを装着してすぐには浮きやたるみが出ます。こちらはアームレストカバーを装着後、アームレストをシートに収めた状態にしておくことで、装着直後の浮きやたるみを緩和することができます。



- 21 アームレストにシートカバーを装着していきます。カバーの入り口を折り返して、アームレストのラインに合わせてカバーをかぶせます。アームレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。



- 22 アームレスト全体にカバーをかぶせます。



- 23 アームレストの軸部分で生地を寄せ合いながらファスナーを閉じます。ファスナーの端はカバーの中へ入れ込みます。



- 24 ドリンクホルダーのフチに、ヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



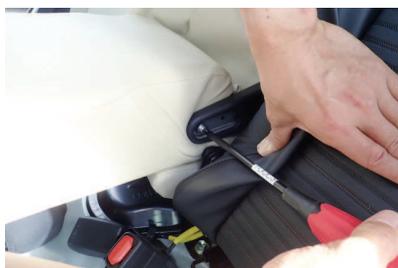
- 25** 生地を全て入れ込むとドリンクホルダー部分は図のようになります。



- 28** アームレストがシートに収まれば、ネジを固定します。ネジを固定する穴には図のようなキャップが付いています。キャップが外れている場合は必ずネジを固定する前にネジ穴に差し込んで下さい。



- 26** アームレストをシートに戻します。アームレスト収納部にアームレストの軸が収まる穴があります。シートの穴位置と、カバーの加工穴の位置が合っていることを確認します。



- 29** アームレストの位置を調整しながらネジ穴を合わせます。ネジ穴を合わせてドライバーで固定します。



- 27** 26番の穴位置に、アームレストの軸を差し込みます。もう片方のシートの軸部分と干渉して隙間が狭くなっています。入れ込む角度を調整して作業を行って下さい。



- 30** 2列目背もたれ・アームレストの完成です。

Step 5

…> ヘッドレストの装着方法

生地が裂けないように注意する



- 1 カバーの入り口部分を裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前です。この際、図の赤丸部分に負荷がかかり過ぎると生地が裂ける恐れがありますので、装着する際は注意して下さい。



- 2 裏返していた部分を両手で広く掴み、慎重にかぶせます。ヘッドレストの中央辺りからカバーがぎつくなるため、少しずつかぶせて下さい。ヘッドレスト全体にカバーをかぶせて、カバーのラインを整えます。



- 3 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせたら、ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏で生地を内へ寄せながらマジックテープを固定します。



- 4 ヘッドレスト裏でブラフックを固定します。



- 5 ブラフックの固定方法は、かぎ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 6 ヘッドレスト裏は図のようになります。



- 7 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。
セダントタイプの2列目ヘッドレストも形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

2列目ヘッドレスト



生地が裂けないように注意する

- 8 ツーリングの2列目左右席のヘッドレストです。
図の矢印方向に、ヘッドレストのラインに合わせて下から上へかぶせます。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前です。
この際、図の赤丸部分に負荷がかかり過ぎると生地が裂ける恐れがありますので、装着する際は注意して下さい。



- 9 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせて、カバーのラインを整えます。



- 10 ヘッドレスト裏のカバーの点線部分にオスのマジックテープ、矢印の先にメスのマジックテープが付いています。メスのマジックテープを内へ寄せながらオスのマジックテープと固定します。



- 11 1列目ヘッドレストと同様にブラックを固定します。ヘッドレスト裏は図のようになります。



- 12 カバーのラインを整えて、2列目左右席のヘッドレストの完成です。
2列目中央席のヘッドレストも形状は異なりますが、同様の固定方法で取り付けます。

Step 6

…> 1列目アームレストの装着方法

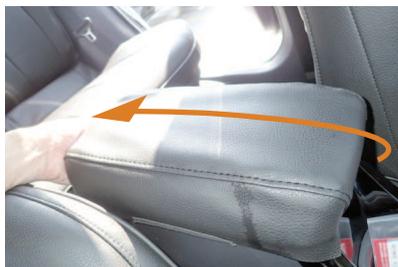
1列目のアームレストカバーは、非常に装着難易度が高いカバーになっています。アームレスト周りのプラスチックパーツに傷などを付けないよう、慎重に作業を行ってください。また、純正シート地が質感の高い仕様のため、カバーの装着はお好みに応じて行って下さい。



- 1 アームレストを前にスライドさせた状態でフタを開けます。フタの裏側にあるネジを3か所、ドライバーを使用して緩めます。
※ネジは完全に外してしまうと装着中にフタの裏側のプラスチックパーツを变形させてしまう恐れがあるので、外さずに緩めるのみにして下さい。



- 2 カバーの前後を確かめます。先端が包み込むような形状になっている方が前側になります。



- 3 カバーをアームレストにかぶせます。アームレストの先端にカバーを引っ掛けるようにかぶせて、そこから全体にかぶせていきます。



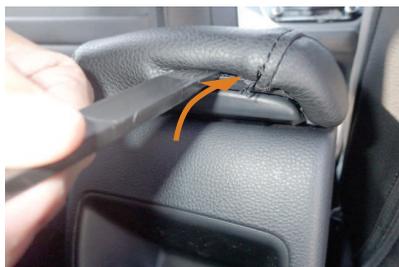
- 4 アームレストの先端からアームレストと裏側のプラスチック部の隙間にヘラなどを使用して生地を入れ込みます。隙間が大変狭くなっているため作業は慎重に行ってください。



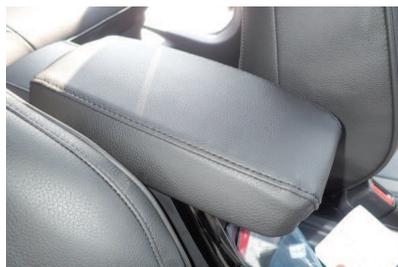
- 5 アームレスト側面のフチにも生地を入れ込みます。



- 6 アームレスト後ろ側の角にも生地を入れ込みます。後ろ側はネジを緩めたりできる構造ではないため隙間が前側よりも狭くなっています。隙間が狭いこともあり図の丸印で囲んである生地と生地の縫い目の終わり部分はカバーの厚みが増すため、この部分は生地を入れ込まないようにして下さい。図の反対側も同様です。



- 7 アームレストの真後ろ側にも生地を入れ込みます。こちらは生地を入れ込む位置を間違いやすくなっています。アームレストのフタとプラスチック部の隙間をしっかりと確認して生地を入れ込んで下さい。



- 10 カバーのラインを整えて、1列目アームレストの完成です。

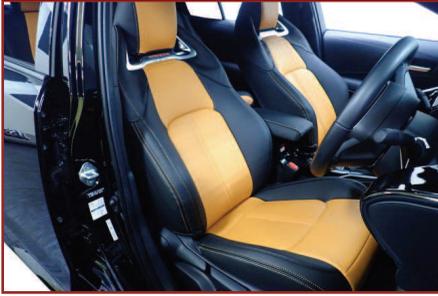


- 8 アームレストを前側にスライドさせた状態です。アームレストの後ろ側は図のようになります。



- 9 1番で緩めたネジを元通りに固定します。

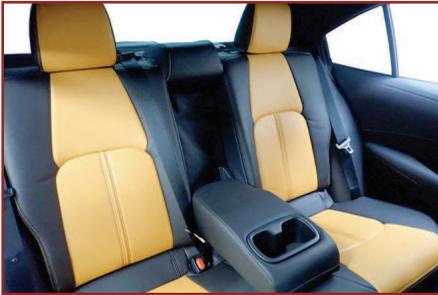
完成図



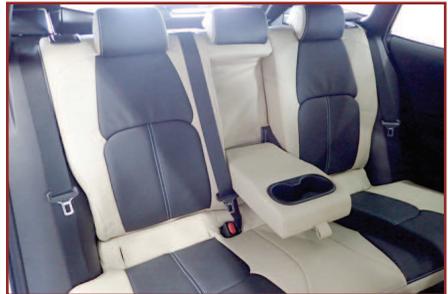
1 列目



1 列目背面



セダンタイプ 2 列目



ツアリング 2 列目

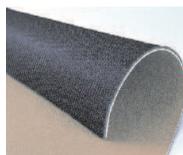


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



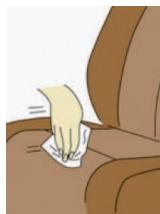
本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかり水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。



www.11i.co.jp

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816